

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

『成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する 来県者動向に係る調査』を実施しました！

平成 2 6 年 2 月 3 日

成田空港活用協議会では、千葉県内の観光・産業振興に活用する基礎資料とするため、成田空港の国内線の利用動向や国内線を利用した千葉県への来訪状況、成田空港のアクセス満足度などの調査を実施しました。調査結果は別紙のとおりです。

なお、本調査結果は、本日、協議会会員向けに開催いたしました「第 1 回県内経済活性化ビジネスセミナー（会場：茂原市）」にて発表させていただきました。

＜お問い合わせ先＞
成田空港活用協議会事務局 内田（事務局長）
千葉市中央区千葉港 4-3 千葉県経営者会館 3 階
TEL：043-306-2411 FAX：043-306-2412
Email：info@nrt-promo.jp
URL：<http://www.nrt-promo.jp/>

2014 年2月3日
成田空港活用協議会

成田空港国内線の利用状況と 国内線を利用する来県者動向に係る調査(概要版)

◆◆◆結果の要約◆◆◆

《成田空港国内線の利用動向》

- 利用目的は、観光が8割、ビジネスが約2割弱。成田空港国内線利用者の目的地（都道府県）のトップ5は、北海道、沖縄県、海外、大阪府、東京都。
- 成田空港国内線の利用満足度は3人中2人が満足と回答。満足な理由は、「空港と目的地（または自宅）のアクセスが良かった」がトップ。
- 同行者は家族が約5割となっている。個人での旅行・観光は「家族」、ビジネスは「1人」、その他（修学旅行等）は「団体」がそれぞれ5割前後と多い。
- 成田空港国内線の未利用者の約5割が将来的に利用したいと回答。
- 将来的に利用したい航空会社はフルサービスキャリア^(注1)とLCC^(注2)が3割台半ばで拮抗。
- 成田空港国内線に占めるLCC利用者のシェアは15.0%。
- LCCは「首都圏」と「国内線就航地」の居住者の利用が多い。LCCの利用シェアは、首都圏では、「千葉県(23.7%)」、国内線就航地では「愛媛県(36.4%)」が最多。
- 成田空港国内線の未利用者のうち将来的に「とても利用したい」と答えたもののうち、LCCを利用したい意向は約6割と最も多い。

《千葉県への来県者動向》

- 千葉県を目的地とした成田空港国内線の利用は約5%。
- 宿泊施設や観光施設・名所旧跡、料理・特産品の順に満足度が高い。
- 再訪意向は約9割で来訪時の満足度の高さに比例している。イベント・体験や料理・特産品に満足した人の再訪意向が強い。
- 来訪市町村のトップ5は、千葉市、浦安市、成田市、船橋市、銚子市。
- 宿泊市町村のトップ5は、千葉市、浦安市、成田市、銚子市、船橋市。
- 訪問目的（トップ3）は「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」。
- 観光客の宿泊を伴う来訪は約9割。LCC利用者の旅程は、「4日（3泊4日）以上」が約4割で最多。

《成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況》

- 成田空港までのアクセス（2次交通）はJRと京成が3割前後で拮抗している。
- 2次交通の満足度は、「満足」が約6割、「どちらでもない」が約3割、「不満」は1割未満となっている。
- 北関東在住者（群馬県・栃木県・茨城県）の満足度が7～8割と高い。1都3県（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）の満足度は、「千葉県(63.1%)」と「東京都(34.6%)」で開きがみられる。
- 圏央道の認知度は約5割、東京湾アクアラインの認知度は約7割。圏央道及び東京湾アクアラインを認知している人の方が利用度合は多い。
- 格安バスの認知度は約3割で、利用割合は5.5%となっている。格安バスを将来的に利用したい意向は約8割。

(注1) JALとANAの2社。

(注2) ジェットスターとエアアジアジャパン（2013年11月にバンラエアに改名）の2社。

調査概要

調査目的	成田空港活用協議会の会員が千葉県内の観光・産業振興の取り組みに幅広く活用するための基礎資料として、成田空港の国内線の利用動向や国内線を利用した千葉県への来訪状況、二次交通の満足度などの調査を実施した。			
調査期間	2013 年 10 月 12 日（土）～13 日（日）			
調査方法	インターネットによるウェブ・アンケート調査			
調査対象者	全国の 15 歳以上の男女 5,500 人 回答サンプルの割付数は以下の通り（カッコ内はサンプル数）			
	調査対象 (5,500)	国内線 就航地 (3,500)	国内線利用 実績あり (2,000)	千葉県（800）
				国内線就航地（1,200） 注1
			国内線利用 実績なし (1,500)	千葉県（300）
				国内線就航地（1,200） 注1
		国内線 就航地以外 (2,000)	利用実績あり (2,000)	首都圏【千葉県を除く】 注2 (1,000)
				その他【千葉県を除く】 (1,000)
	(注) 1. 北海道、宮城県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、愛媛県、福岡県、大分県、鹿児島県、沖縄県			
2. 東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県				

調査項目一覧

ジャンル	設 問
属 性	性別／年齢層／居住地／婚姻状況／子供の有無／職業
成田空港の 利用動向	成田空港の利用動向（発着別）／行先地・利用航空会社（発着別） 利用目的／ツアー・個人旅行／同行者／利用時の満足度 満足な理由／不満足な理由／国内線利用時の目的地
成田空港 国内線利用 時の県内 来訪動向	来訪地（市町村別）／訪問月／訪問回数／旅程 宿泊地（市町村別）訪問目的／情報入手方法／旅行全体の費用 飲食・土産代（一人当たり）／購入した土産品 千葉県訪問時の満足度（全体感・項目別）／千葉県の再訪意向
アクセス （2次交通）	アクセス（2次交通）／満足度／満足理由／不満足理由 圏央道・アクアラインの認知度及び利用状況・利用時の満足度 利用しなかった理由・認知度／格安バスの利用意向
羽田空港併 用者意向	羽田空港国内線の利用動向／羽田空港ではなく成田空港を利用した理由 成田空港国内線の再利用の意向
国内線・LCC の認知度	成田空港国内線の認知度 LCCの認知度
潜在的な利 用ニーズ	成田空港国内線の将来的な利用意向／将来的に利用したい航空会社／成田空港を利用する際の利用目的／成田空港の利用条件

1. 成田空港国内線の利用動向

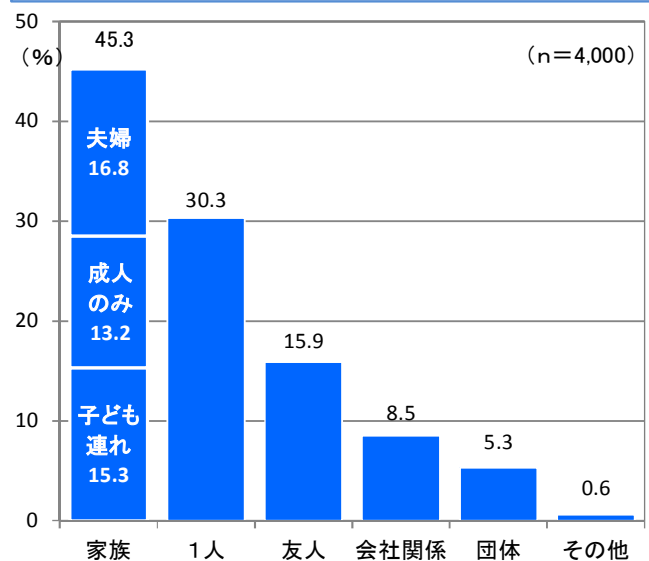
(1) 概要

- 成田空港国内線の利用目的は、個人での旅行・観光が8割、ビジネスが約2割弱。
- 成田空港国内線利用者の目的地（都道府県）のトップ5は、北海道（26.5%）、沖縄県（16.6%）、海外^{（注3）}（14.8%）、大阪府（11.5%）、東京都（11.3%）。成田空港は国際空港だけに「海外」が3位となっている。
- 成田空港国内線利用者の同行者は家族が約5割。個人での旅行・観光は「家族」、ビジネスは「1人」、その他（修学旅行等）は「団体」がそれぞれ5割前後と多い。
- 成田空港国内線の利用満足度は3人中2人が満足と回答。満足な理由（トップ3）は、「空港と目的地（または自宅）のアクセスが良かった」、「航空機の運航ダイヤが良かった」、「航空料金が安かった（適正だった）」。

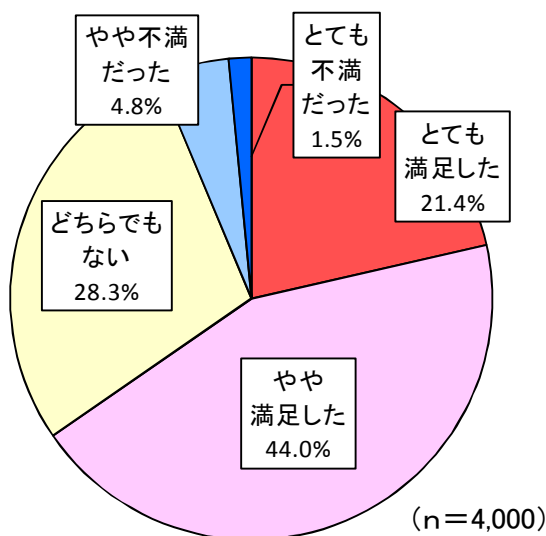
■目的地[都道府県別]

(n=4,000)		回答数(件)	構成比(%)
1位	北海道	1,060	26.5
2位	沖縄県	665	16.6
3位	海外	593	14.8
4位	大阪府	461	11.5
5位	東京都	450	11.3
6位	福岡県	420	10.5
7位	千葉県	207	5.2
8位	鹿児島県	158	4.0
9位	兵庫県	128	3.2
10位	広島県	122	3.1

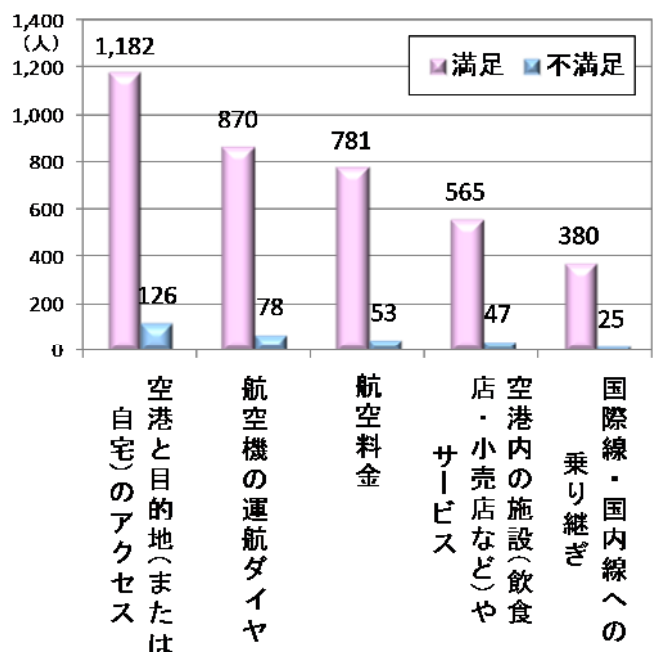
■同行者



■利用満足度



■成田空港国内線の満足・不満理由

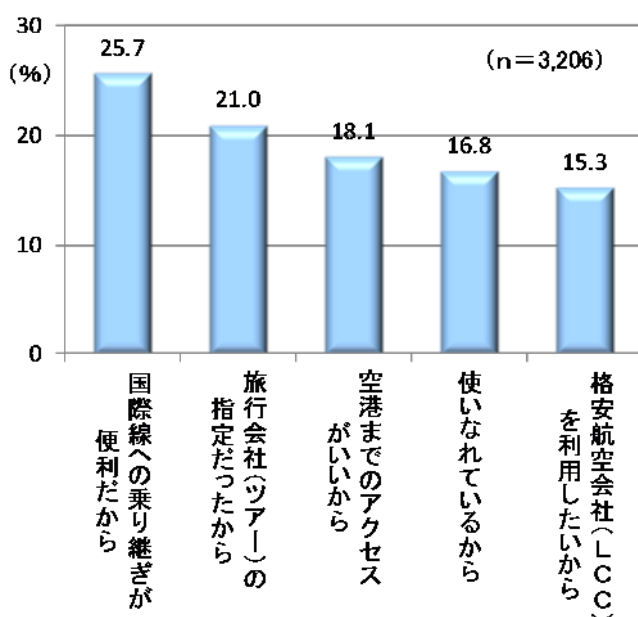


(注3) 国内線から国際線への乗り継ぎ利用のこと。

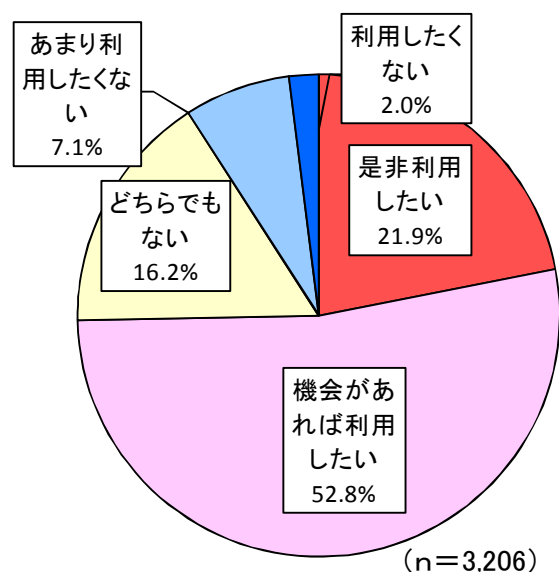
(2) 羽田空港の併用者の意向

- 成田空港国内線の利用者の約8割が羽田空港も併用している。
- 羽田空港の併用者が成田空港国内線を利用した理由は、「国際線への乗り継ぎが便利だから」が最も多くなっている。
- 羽田空港併用者のうち、今後も成田空港国内線を「是非利用したい」は2割、「機会があれば利用したい」は約5割となっている。
- 成田空港国内線の「利用満足度」と「再利用意向」の関係をみると、今後も国内線を「是非利用したい」と回答した人のうち、利用満足度で「とても満足した」と回答した人が50.1%と「やや満足した(20.3%)」を約30ポイント上回っており、国内線を再利用してもらうためには「やや」ではなく「とても」満足させることが重要である。

■ 羽田空港でなく成田空港を利用した理由
(羽田空港の併用者)



■ 成田空港の再利用の意向
(羽田空港の併用者)



■ 成田空港国内線の利用満足度別再利用の意向(羽田空港の併用者)

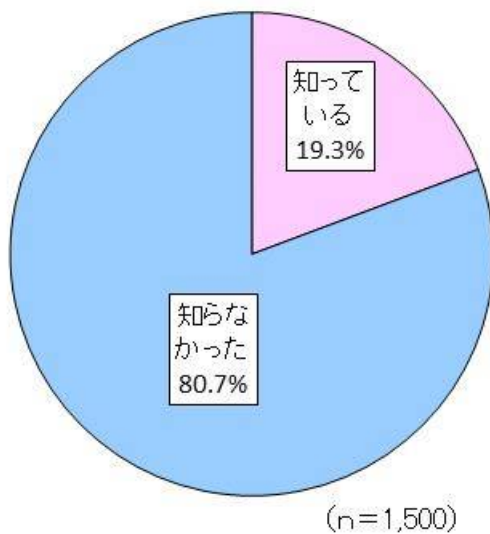
(単位: %)

	回答数	是非利用したい	機会があれば利用したい	どちらでもない	あまり利用したくない	利用したくない
全 体	3,206	21.9	52.8	16.2	7.1	2.0
とても満足した	659	50.1	42.9	4.7	1.7	0.6
やや満足した	1,406	20.3	65.3	11.5	2.3	0.5
どちらでもない	918	6.9	47.4	31.2	12.0	2.6
やや不満だった	179	10.6	27.9	19.0	34.6	7.8
とても不満だった	44	11.4	13.6	13.6	25.0	36.4

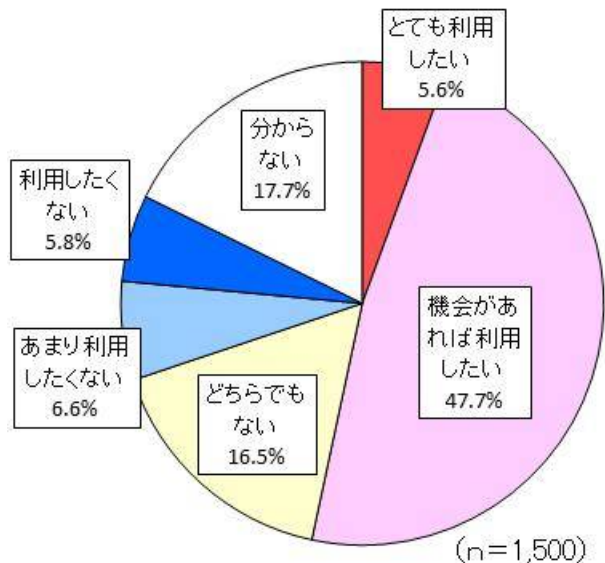
(3) 国内線の利便性向上の認知度・潜在的な利用ニーズ

- 成田空港国内線の利便性向上について、成田空港国内線の未利用者の約8割が「知らなかった」と回答（千葉県未利用者の約8割が「知らなかった」と回答）。
- 成田空港国内線の未利用者（以下同じ）の約5割が将来的に利用したいと回答。
- 将来的に利用したい航空会社は、フルサービスキャリアとLCCが3割台半ばで拮抗。
- 将来の利用目的は、観光が約9割を超え、ビジネス（約1割）を大幅に上回っている。
- 成田空港国内線を今後「とても利用したい」と「機会があれば利用したい」人の利用条件をみると「空港へのアクセス利便性の向上」が6割を超え最も多い。また、全体的に両者はほぼ同率のなかで、「LCCの便数増」は、「とても利用したい」が「機会があれば利用したい」を約14ポイント上回っており、国内線未利用者の利用促進に向けた動機づけとして他の項目より有効である。

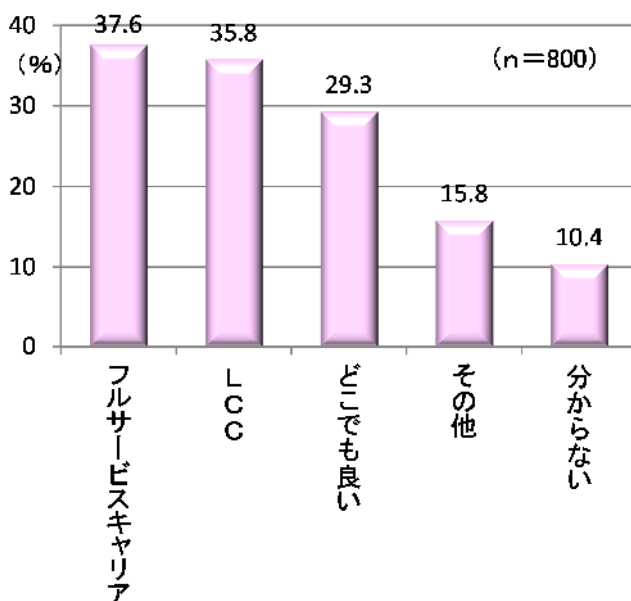
■ 成田空港国内線の利便性向上に関する認知度
(成田空港国内線の未利用者)



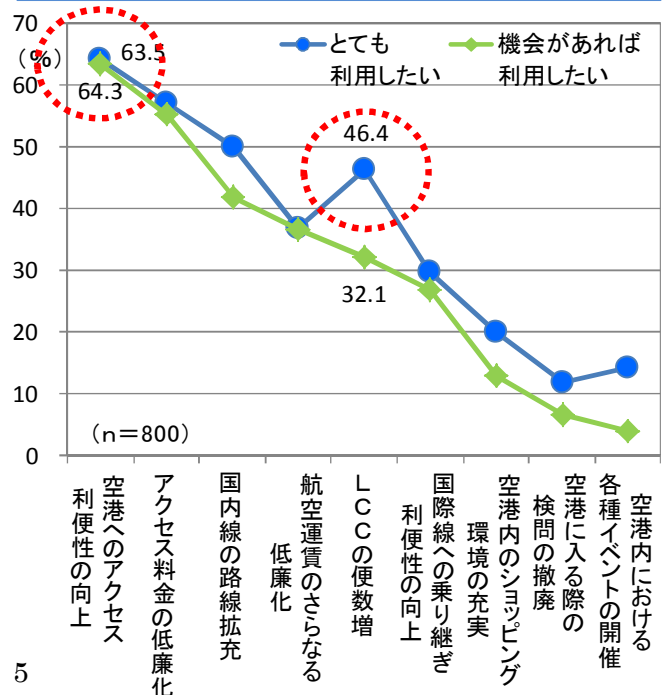
■ 成田空港国内線の将来的な利用意向
(成田空港国内線の未利用者)



■ 将来利用したい航空会社
(成田空港国内線の未利用者のうち利用意向のある人)



■ 今後の成田空港国内線の利用条件
(成田空港国内線の未利用者のうち利用意向のある人)



(4) LCCの利用状況

- 成田空港国内線に占めるLCC利用者のシェアは15.0%。
- LCCは「首都圏」と「国内線就航地」の居住者の利用が多い。LCCの利用シェアは、首都圏では、「千葉県(23.7%)」、国内線就航地では「愛媛県(36.4%)」が最多。
- LCCの利用目的は、観光が84%で他のエアラインに比して多い。
- LCCの利用者が成田空港を利用して満足な理由は「航空料金が安かった(適正だった)」が多く、不満な理由は「航空機の運航ダイヤが悪かった」が他の航空会社と比べて多かった。

■利用航空会社

(単位: %)

	合計	成田空港 出発便	成田空港 到着便
回答数	5,524	2,942	2,582
日本航空(JAL)	38.1	39.2	36.9
全日本空輸(ANA)	34.7	34.8	34.6
LCC合計	15.0	14.4	15.6
スカイマーク(SKY)	7.3	7.2	7.4
IBEXエアラインズ(IBX)	1.3	1.0	1.5
その他	3.7	3.5	4.0

(注)「覚えていない」を除くベース。

■LCC利用者の割合[首都圏]

(単位: %)

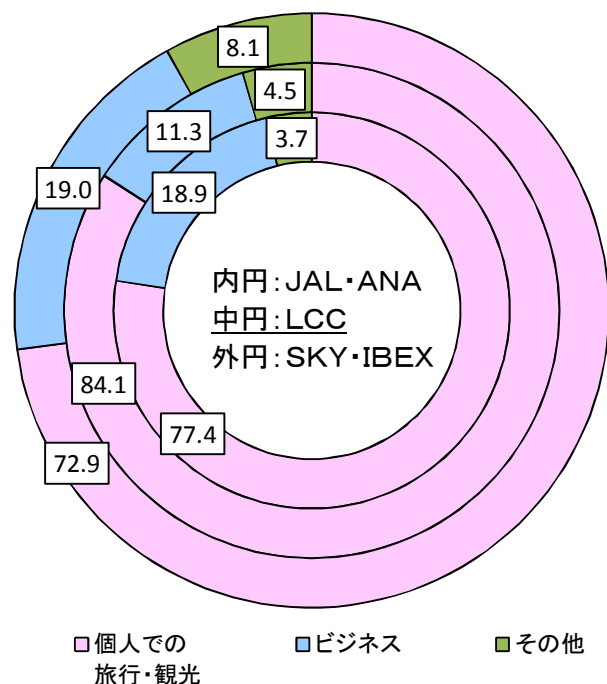
	回答数	LCC利用者
千葉県	1,179	23.7
埼玉県	235	17.9
東京都	610	15.4
茨城県	53	15.1
神奈川県	335	12.2
群馬県	47	4.3
栃木県	28	0.0
山梨県	14	0.0
全 体	5,524	15.0

■LCC利用者の割合[国内線就航地]

(単位: %)

	回答数	LCC利用者
愛媛県	129	36.4
大分県	146	31.5
沖縄県	142	31.0
鹿児島県	140	25.0
千葉県	1,179	23.7
福岡	152	23.7
北海道	143	18.2
大阪府	138	9.4
新潟県	130	8.5
宮城県	141	6.4
愛知県	136	2.2
広島県	140	2.1
石川県	151	0.7
全 体	5,524	15.0

■利用目的[航空会社別]



(5) LCCの認知度・今後の利用意向

- LCCについて、約6割が「知っている」と回答。首都圏の都県別に認知度をみると、茨城県が約8割で最も多く、群馬県と千葉県が7割前後で続いている。
- 成田空港国内線のLCC利用者の約7割は「LCCを利用したいから」羽田空港ではなく、成田空港を利用したと回答した。
- 成田空港国内線の未利用で将来的に成田空港国内線を「とても利用したい」と答えたもののうち、航空会社は「LCCを利用したい」と回答したのは約6割と最多。
- 将来的に「LCCを利用したい」回答者を地方別にみると「近畿」が約5割で最多となっている。

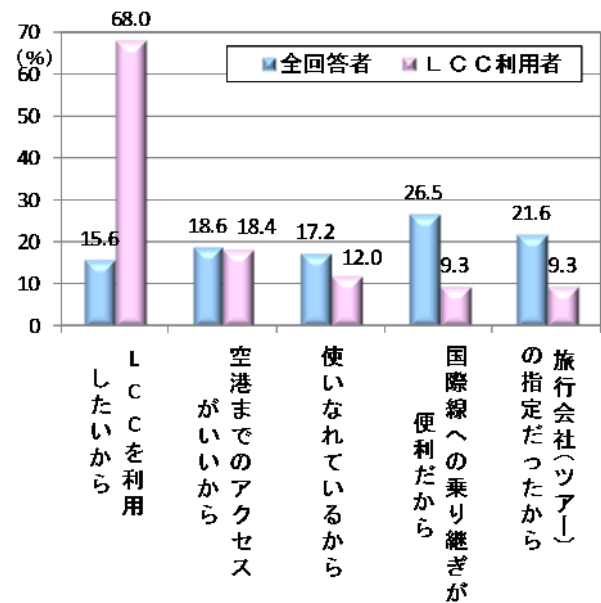
■LCCの認知度(LCC未利用者)

(単位: %)

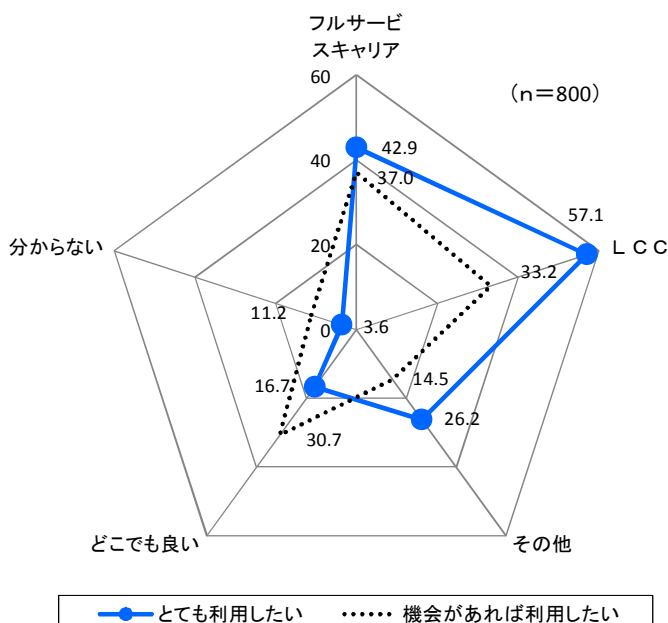
	回答数	知っている	知らなかった
全体	5,000	59.3	40.7
関東地方合計	1,810	65.7	34.3
茨城県	36	83.3	16.7
群馬県	27	74.1	25.9
千葉県	939	67.4	32.6
東京都	388	63.1	36.9
神奈川県	247	62.8	37.2
埼玉県	150	61.3	38.7
栃木県	23	60.9	39.1

(注) 都県別は「知っている」の降順。

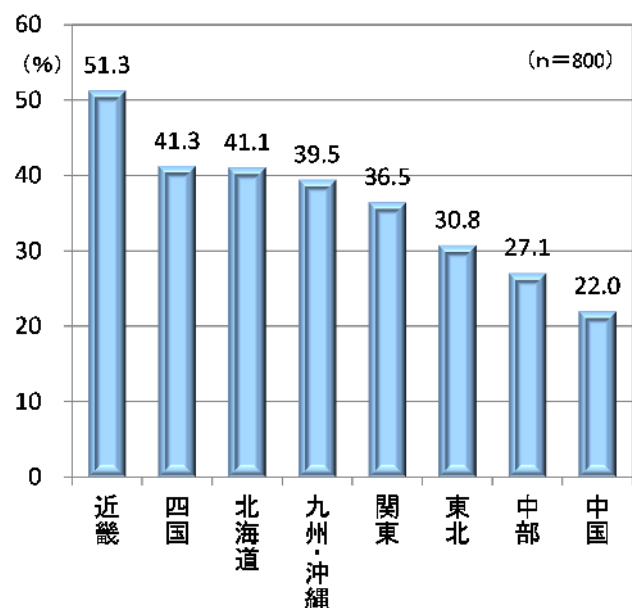
■羽田空港ではなく成田空港を利用した理由
(羽田空港併用者)



■将来利用したい航空会社
(成田空港国内線の未利用者のうち利用意向のある人)



■将来的にLCCを利用したい回答者の割合[地方別]
(成田空港国内線の未利用者のうち利用意向のある人)



2. 千葉県への来県者動向

(1) 概要

- 千葉県を目的地とした成田空港国内線の利用は約5%。千葉県には、西日本（奈良県や徳島県、兵庫県など）からの来訪が多い。
- 千葉県の情報入手方法は、「インターネット」が約7割と最も多い。
- 訪問時の満足度は総じて高い（とても満足：約3割、やや満足：約5割）。宿泊施設や観光施設・名所旧跡、料理・特産品の順に満足度が高い。
- 再訪意向は約9割（是非：約4割＋機会があれば：約5割）。再訪意向は来訪時の満足度の高さに比例している。
- イベント・体験や料理・特産品に満足した人の再訪意向が強い。

■成田空港国内線を利用して
千葉県を訪問した人の居住地

	居住地	回答数 (人)	目的地が 千葉県 (%)
1	位 奈 良 県	59	16.9
2	位 徳 島 県	12	16.7
3	位 兵 庫 県	192	14.1
4	位 北 海 道	100	12.0
5	位 鹿 児 島 県	100	12.0
6	位 福 井 県	17	11.8
7	位 京 都 府	96	11.5
8	位 島 根 県	9	11.1
9	位 沖 縄 県	100	11.0
10	位 大 阪 府	100	10.0
	全 体	4,000	5.2

■千葉県を訪問時の満足度[項目別]

(単位: %)

(n=207)	満足度(満足計)		
		とても 満足した	やや 満足した
宿泊施設	62.3	26.6	35.7
観光施設・名所旧跡	59.9	22.7	37.2
料理・特産品	59.4	18.8	40.6
景観(自然・町並み)	53.6	10.6	43.0
交通・案内標識	49.3	11.6	37.7
イベント・体験	46.4	16.4	30.0
観光事業者の接遇・ 応対(おもてなし)	45.0	12.6	32.4

■千葉県の再訪意向[満足度別]

(単位: %)

	回答数	行きた い是非	機会が ある ない	どちら でもない	あまり 行 く つもり はない	行く つもり はない
全体	207	36.2	48.8	11.1	2.9	1.0
とても 満足した	68	79.4	19.1	1.5	0.0	0.0
やや 満足した	99	20.2	71.7	8.1	0.0	0.0
どちら でもない	38	2.6	44.7	34.2	13.2	5.3
やや 不満 だった	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
とても 不満 だった	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■千葉県の再訪意向[「とても満足した」項目別]

(単位: %)

	回答数	行きた い是非	機会が ある ない	どちら でもない	あまり 行 く つもり はない	行く つもり はない
イベント・体験	34	88.2	11.8	0.0	0.0	0.0
料理・特産品	39	87.2	12.8	0.0	0.0	0.0
景観(自然・町並み)	22	86.4	9.1	4.5	0.0	0.0
観光事業者の接遇・ 応対(おもてなし)	26	80.8	19.2	0.0	0.0	0.0
観光施設・名所旧跡	47	76.6	21.3	2.1	0.0	0.0
宿泊施設	55	76.4	18.2	5.5	0.0	0.0
交通・案内標識	24	75.0	20.8	4.2	0.0	0.0

(2) 来訪市町村・宿泊市町村

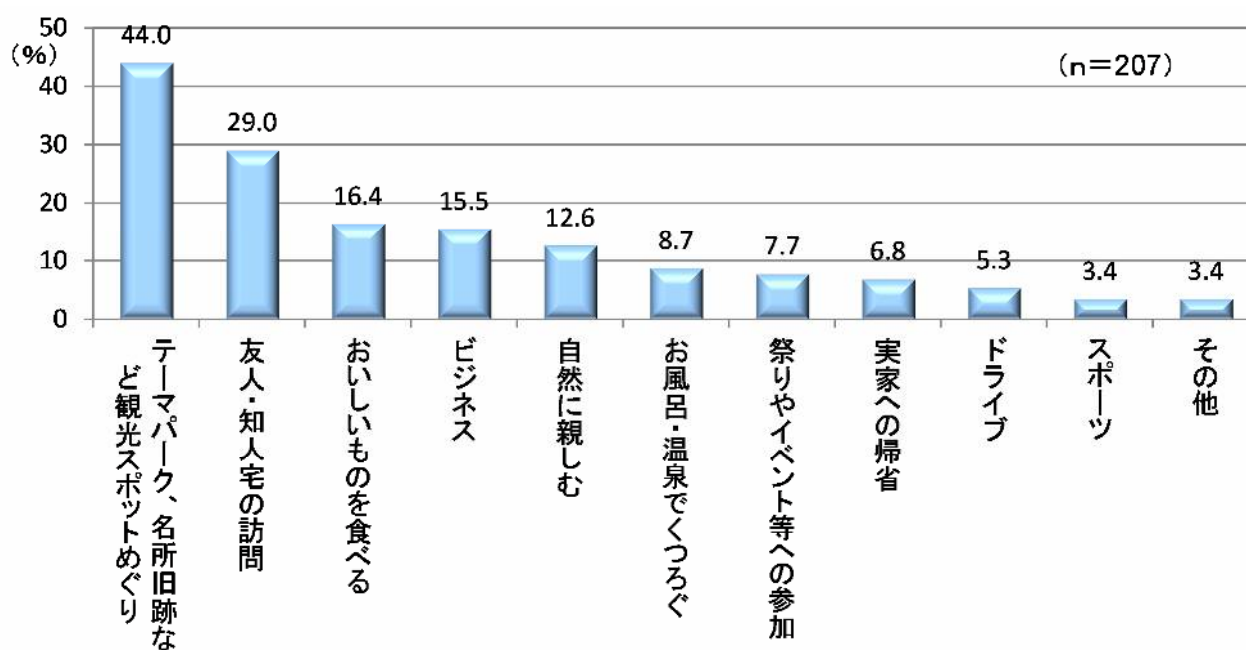
- 来訪市町村のトップ5は、千葉市、浦安市、成田市、船橋市、銚子市。ビジネス目的の来訪は千葉市が約5割を占めている。国内線就航地からの来訪は浦安市（約3割）が最も多い。
- 宿泊地のトップ5は千葉市、浦安市、成田市、銚子市、船橋市。
- 訪問目的（トップ3）は「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」。
- 訪問目的別の同行者は、「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」は家族（子ども連れ）の利用が多く、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」、「自然に親しむ」は家族（夫婦）の利用が多い。

■来訪市町村及び宿泊市町村[目的別]

(単位: %)

	訪問市町村						宿泊市町村					
	全体		ビジネス		個人での旅行・観光		全体		ビジネス		個人での旅行・観光	
回答数	207		32		170		207		27		152	
1 位	千葉市	34.8	千葉市	46.9	千葉市	32.9	千葉市	32.6	千葉市	37.0	千葉市	32.2
2 位	浦安市	29.5	成田市 浦安市	15.6	浦安市	31.8	浦安市	25.5	成田市	18.5	浦安市	27.0
3 位	成田市	22.7			成田市	24.1	成田市	16.3	銚子市 浦安市	14.8	成田市	15.8
4 位	船橋市	10.1			船橋市	10.6	銚子市	7.6			船橋市	7.2
5 位	銚子市	5.8			銚子市	5.9	船橋市	7.1			銚子市	6.6
									船橋市 柏市 鎌ヶ谷市	7.4		

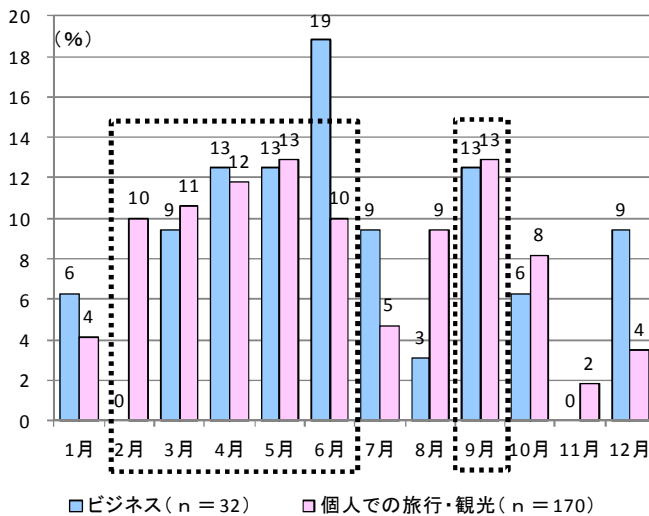
■千葉県を訪問した目的



(3) 来訪時期・旅程・消費動向

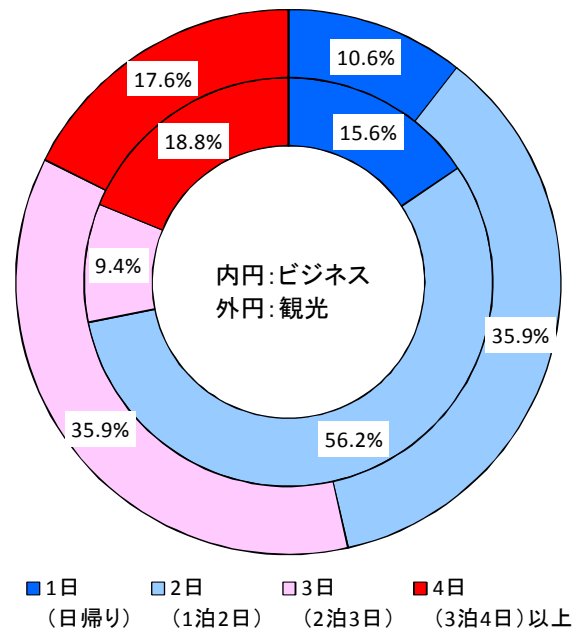
- 個人での旅行・観光で来訪が多いのは2～6月及び9月。
- 観光客は「2日（1泊2日）」と「3日（2泊3日）」が約4割と最も多い。
- 観光客の宿泊を伴う来訪は約9割となっている。
- LCC利用者の旅程は、「4日（3泊4日）」以上が約4割で最多。
- 旅行全体の費用（一人当たり）は、「3万円以上5万円未満」が約4割で最も多い。
- 宿泊日数と旅行費用はほぼ比例している。
- 飲食・土産品代（一人当たり）及び購入品目は、「1万円以上」が約4割で最も多い。
- 購入品目は、菓子類、ディズニーグッズ、落花生（加工品）などとなっている。

■訪問月[目的別]

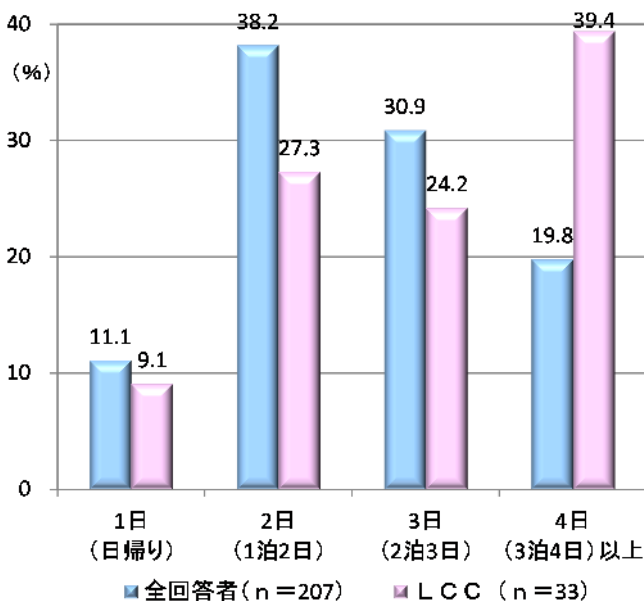


(注) 破線囲みの月は個人での旅行・観光が10%以上。

■旅程[目的別]



■旅程[LCCと全回答者の比較]



■旅行全体の費用及び飲食・土産品代 [一人当たり]

◆旅行費用（一人当たり）

1万円未満	6.8%
1万円以上3万円未満	24.6%
3万円以上5万円未満	36.2%
5万円以上10万円未満	23.7%
10万円以上	8.7%

◆飲食・土産品代（一人当たり）

3千円未満	15.0%
3千円以上5千円未満	23.2%
5千円以上1万円未満	25.6%
1万円以上	36.2%

(注) 網掛けは最多。

3. 成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況

（1）概要

- 成田空港までのアクセス（2次交通）はJRと京成が3割前後で拮抗している。
- 千葉県は「乗用車（マイカー）」、神奈川県及び東京都は「成田エクスプレス」、埼玉県は「スカイライナーなどの有料特急」、北関東は「乗用車（マイカー）」や「空港直行バス」の利用がそれぞれ多かった。
- 2次交通に満足（とても＋やや）したという回答は約6割、どちらでもないは約3割、不満（とても＋やや）は1割未満となっている。
- 北関東在住者（群馬県・栃木県・茨城県）の満足度が7～8割と高い。
- 1都3県（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）の満足度は、「千葉県（63.1%）」と「東京都（34.6%）」で開きがみられる。

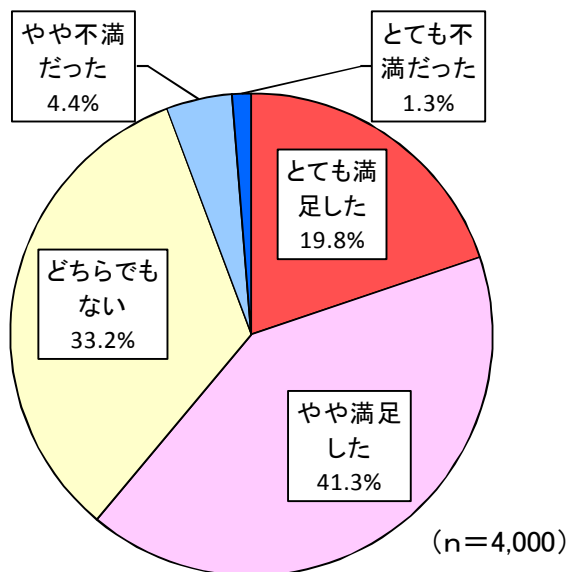
■アクセス（2次交通）の利用状況

(n=4,000)	構成比 (%)
JR計	34.8
JR(成田エクスプレス)	24.8
JR(成田エクスプレス以外)	10.0
京成計	30.8
京成(スカイライナーなどの有料特急)	9.6
京成(京成本線)	14.7
京成(スカイアクセス線)	6.5
空港直行バス	21.1
格安バス(東京シャトル・THEアクセス成田)	5.5
地域路線バス	4.0
乗用車(マイカー)	16.7
乗用車(レンタカー)	3.4
タクシー・ハイヤー	5.7
その他	4.7

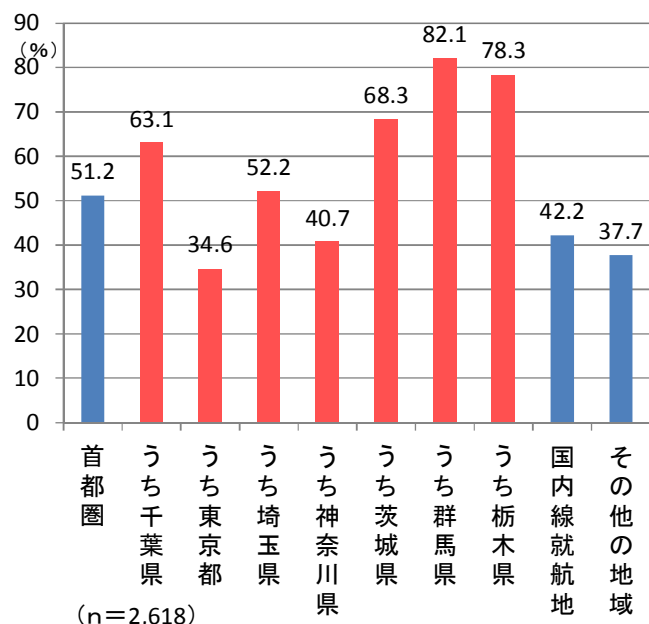
■アクセス（2次交通）の利用状況
[関東地方の居住地別]

居住地	利用割合が最も多い アクセス（2次交通）	構成比 (%)
千葉県	乗用車(マイカー)	30.1
東京都	成田エクスプレス(JR)	29.8
神奈川県	成田エクスプレス(JR)	33.2
埼玉県	スカイライナーなどの有料特急(京成)	26.4
茨城県	乗用車(マイカー)	34.1
栃木県	空港直行バス	30.4
群馬県	空港直行バス 乗用車(マイカー)	32.1

■アクセス（2次交通）の満足度



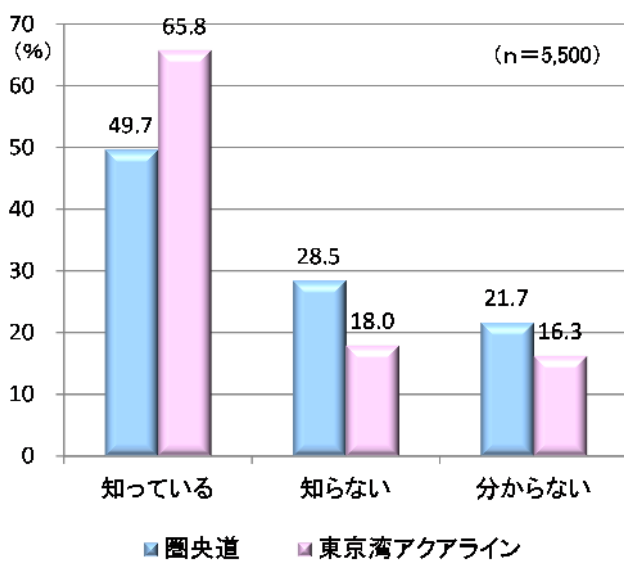
■アクセス（2次交通）の満足度[地域別]
(成田空港国内線の利用時に「満足」と答えた回答者)



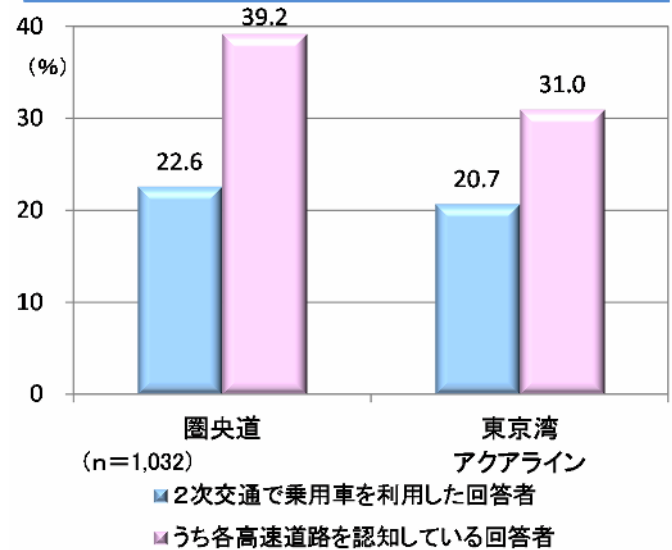
(2) 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）及び東京湾アクアライン、格安バスの利用状況

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の認知度は約 5 割、東京湾アクアラインの認知度は約 7 割。
- 圏央道を認知している人の利用は約 4 割、東京湾アクアラインを認知している人の利用は約 3 割と全回答者（何れも約 2 割）より多い。
- 圏央道と東京湾アクアラインともにビジネス利用が多い。
- 格安バス^(注4)の利用割合は 5.5%。格安バスの認知度は約 3 割。格安バスの認知度を属性別にみると、目的別には「ビジネス」、地域別には「首都圏」、航空会社別には「LCC」の認知度が高い。
- 格安バスを将来的に利用したいとの回答は約 8 割。

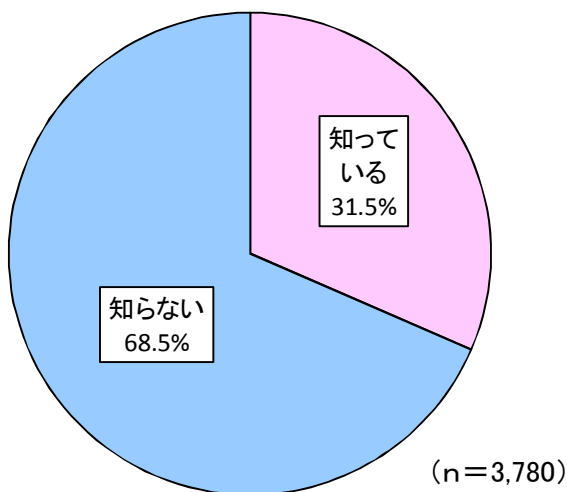
■ 圏央道・東京湾アクアラインの認知度



■ 圏央道・東京湾アクアラインの利用状況
(2 次交通で乗用車、タクシー・ハイヤーの利用者)



■ 格安バスの認知度
(成田空港国内線の利用者かつ格安バスの未利用者)



■ 格安バスの認知度[属性別]
(成田空港国内線の利用者かつ格安バスの未利用者)

(単位: %)

	回答数	知っている	知らない
全体	3,780	31.5	68.5
目的別			
ビジネス	645	38.3	61.7
個人での旅行・観光	2,951	30.8	69.2
地域別			
首都圏	1,730	37.4	62.6
国内線就航地	1,120	27.7	72.3
その他の地域	930	24.9	75.1
航空会社別			
JAL・ANA	2,333	31.4	68.6
LCC	388	47.4	52.6
SKY・IBX	234	43.2	56.8

(注) 網掛けは属性別に最多の項目。

(注4) 成田空港から東京駅間の運賃：一般的なバス会社は約 3,000 円、格安バスは 900～1,000 円。